



親子で天体観測

# 夜空を見上げてみよう

時期：12月

## 流星群の行方とプレアデスの乙女たち

毎年12月14日頃はふたご座流星群が見られます。3大流星群の1つとして毎年安定して出現し、今年は観察条件が良く日没から夜半前までの時間帯が見頃です（夜半以降は下弦の月が昇ってきて空が明るくなります）。街明かりなどがあまりない場所では、1時間に30個ほどの流れ星が見られると予想されています。



プレアデス星団

流星群は、地球の公転軌道付近を彗星が通った時にまき散らしたチリの中を地球が通過することで起こる現象です。年によってチリが濃い場所や薄い場所を通る場合があり、それによって流れ星の飛ぶ数が違います。今年はどうでしょうか？

ふたご座は、夜9時頃には東の空に、真夜中には夜空の一番高いあたりにありますが、夜空全体に流れ星は飛びますので広い範囲を見ていた方が良いでしょう。

そしてこれからの季節が見頃となるのは、青白い光を放つ様が「夜空の宝石」とも言われる、おうし座のプレアデス星団です。410光年程の距離にあるこの散開星団は、日本では「昴(すばる)」と呼ばれ、昔から愛されてきた星たちです。古くは清少納言の「枕草子」にも他の美しい星たちを差し置いて「星は、すばる。」と最初に登場するのです。

他にも歌のタイトルや歌詞にも使われたり、自動車メーカーの名前にもなっており、そのエンブレムにはまさに昴の姿が輝いています。西洋では「プレアデスの7人姉妹」と例えられますが、日本では「六連星(むつらぼし)」と呼ばれています。と言うことは…日本人には6つしか見えないのだとすれば、ちょっと悔しい感じもしますが…。

★日立シビックセンター 科学館  
阿部 裕行

### 天文現象

- 12月6日(土) 満月
- 12月14日(日) 下弦の月、ふたご座流星群が極大
- 12月22日(月) 新月、冬至
- 12月29日(月) 上弦の月

### ワンポイントアドバイス

きらびやかな1等星たちも探してみましょう。

### 日立シビックセンター天球劇場の案内

★オリジナルプラネタリウム番組「星に願いを、月に祈りを」11:00(※土日祝日)、13:00、16:00  
★「星と宇宙を楽しむプラネタリウム」14:30 ★「いつでも夢を」12月16日(火)11:00、1月からは毎週火曜11:00に上映します。

[問い合わせ] ☎0294(24)7731 <http://www.civic.jp>



日立シビックセンター科学館よりプラネタリウム入場券をペア2組にプレゼント。  
16日必着で茨城朝日宛てハガキで応募を。